

別記様式第1号の2の2 (第3条の2、第51条の9関係)

防火  
防災  
 管理者選任(解任)届出書

年 月 日
殿
管理権原者 住所 _____ <small>(法人の場合は、名称及び代表者氏名)</small>
氏名 _____
電話番号 _____
下記のとおり、 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 防災 管理者を選任(解任)したので届け出ます。
記

防火 対象物 又は 建築物 その他の 工作物	所在地	電話( )			
	名称				
	管理権原	<input type="checkbox"/> 単一権原 <input type="checkbox"/> 複数権原	複数権原の場合に管理権原に属する部分の名称		
	用途 <sup>*1</sup>	令別表第1 <sup>*1</sup>	( )項	収容人員 <sup>*1</sup>	
	種別	<input type="checkbox"/> 甲種 <input type="checkbox"/> 乙種			
	区分	名称	令別表第1	収容人員	
	令第2条を適用するもの <sup>**2</sup>		( )項		
	令第3条第3項を適用するもの <sup>**2</sup>		( )項		

防火・ 防災 管理者 選任 資格	氏名(フリガナ)					
	住所					
	選任年月日		年 月 日			
	職務上の地位					
	講習 資格	種別	<input type="checkbox"/> 防火管理 ( <input type="checkbox"/> 甲種( <input type="checkbox"/> 新規講習 <input type="checkbox"/> 再講習) <input type="checkbox"/> 乙種)	<input type="checkbox"/> 防災管理( <input type="checkbox"/> 新規講習 <input type="checkbox"/> 再講習)		
		講習機関				
		修了年月日	年 月 日	年 月 日		
	その他	<input type="checkbox"/> 令第3条第1項第( )号( )		<input type="checkbox"/> 令第47条第1項第( )号		
		<input type="checkbox"/> 規則第2条第( )号		<input type="checkbox"/> 規則第51条の5第( )号		
	解任	氏名				
解任年月日		年 月 日				
解任理由						

その他必要事項	
受付欄 <sup>*3</sup>	経過欄 <sup>*3</sup>

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 印のある欄については、該当の印にレを付けること。  
 3 <sup>\*</sup>1欄は、複数権原の場合にあっては管理権原に属する部分の情報を記入すること。  
 4 <sup>\*</sup>2欄は、消防法施行令第2条を運用するものにあつては同一敷地内にある同令第1条の2の防火対象物ごとに、同令第3条第3項を適用するものにあつては管理権原に属する部分ごとに記入すること。欄が不足する場合は、任意で書類を作成し添付すること。  
 5 消防法施行令第1条の2第3項第2号及び第3号の防火対象物にあつてはその他必要な事項の欄に工事が完了した際の防火対象物の規模を記入すること。  
 6 消防法施行令第3条第2項又は同令第47条括弧書を適用するものにあつてはその他必要な事項の欄に管理的又は監督的な地位にある者のいずれもが防火及び防災管理に必要な業務を適正に遂行できることができない理由を記入すること。  
 7 防火・防災管理者の資格を証する書面を添付すること。  
 8 <sup>\*</sup>3欄は、記入しないこと。

(記入要領)

(1) 防火 防災 管理者選任(解任)届出書

				(2) 年 月 日		
(3) 殿		(4) 管理権原者				
		住所		(法人の場合は、名称及び代表者氏名)		
		氏名				
		電話番号				
(5) 下記のとおり、		<input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 防災		管理者を選任(解任)したので届け出ます。		
記						
防火 対象物 又は 建築物その他の 工作物	所在地	(6)		電話 ( )		
	名称	(7)				
	管理権原	(8) <input type="checkbox"/> 単一権原 <input type="checkbox"/> 複数権原	複数権原の場合に管理権原に属する部分の名称		(9)	
	用途*1	(10)	令別表第1*1	( ) 項	收容人員*1	(11)
	種別	(12) <input type="checkbox"/> 甲種 <input type="checkbox"/> 乙種				
	区分	名称		令別表第1	收容人員	
	令第2条を適用するもの*2	(13)			( ) 項	
	令第3条第3項を適用するもの*2	(14)			( ) 項	
防火・ 防災 管理者 選任	氏名(フリガナ)	(15)				
	住所	(16)				
	選任年月日	(17) 年 月 日				
	職務上の地位	(18)				
	資格	種別	<input type="checkbox"/> 防 <input type="checkbox"/> 甲		(19)	
		講習機関			(20)	
		修了年月日				
	その他	<input type="checkbox"/> 令第3条第1項第( )号( )		<input type="checkbox"/> 令第47条第1項第( )号		
		<input type="checkbox"/> 規則第2条第( )号		<input type="checkbox"/> 規則第51条の5第( )号		
	解任	氏名	(21)			
解任年月日		(22) 年 月 日				
解任理由		(23)				
その他必要事項		(24)				
受付欄*3		経過欄*3				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。  
 3 ※1欄は、複数権原の場合にあっては管理権原に属する部分の情報を記入すること。  
 4 ※2欄は、消防法施行令第2条を運用するものにあつては同一敷地内にある同令第1条の2の防火対象物ごとに、同令第3条第3項を適用するものにあつては管理権原に属する部分ごとに記入すること。欄が不足する場合は、任意で書類を作成し添付すること。  
 5 消防法施行令第1条の2第3項第2号及び第3号の防火対象物にあつてはその他必要な事項の欄に工事が完了した際の防火対象物の規模を記入すること。  
 6 消防法施行令第3条第2項又は同令第4条7条括弧書を適用するものにあつてはその他必要な事項の欄に管理的又は監督的な地位にある者のいずれもが防火及び防災管理上必要な業務を適正に遂行することができない理由を記入すること。  
 7 防火・防災管理者の資格を証する書面を添付すること。  
 8 ※3欄は、記入しないこと。

**[防火・防災管理者選任(解任)届出書記入要領]**

項 目		記 入 要 領	
<b>(1) 届出書名</b>		1 「防火・防災」のうち、該当の□印に☑を付けます。 2 「選任(解任)」のうち、不要な文字を—で抹消します。 3 同一の届出書で選任と解任を行うときはそのままにします。	
<b>(2) 年月日</b>		当該届出書の提出年月日を記入します。	
<b>(3) 宛先</b>		当該防火対象物等を所轄する粕屋南部消防組合〇〇消防署長宛とします。所轄消防署は、志免・宇美・須恵町は南部消防署、粕屋・篠栗・久山町は中部消防署です。(防災管理対象物は粕屋南部消防組合消防本部消防長宛となります。)	
<b>(4) 届出者</b>		1 当該事業所の管理について権原を有する者の住所、氏名を記入します。(ただし、法人の場合は法人の住所、名称及び代表者の職・氏名を記入します。) 2 個人企業等の場合は、住所登録のしてある住所とします。	
<b>(5) 届出内容</b>		『(1) 届出書名』にならって記入します。	
防火 対 象 物 等	<b>(6) 所在地</b>	当該防火対象物等の所在地及び電話番号を記入します。(糟屋郡は不要です。〇〇町から記入します。)	
	<b>(7) 名称</b>	「〇〇株式会社〇〇工場」、「〇〇銀行〇〇支店」等当該防火対象物等の名称を記入します。	
	<b>(8) 管理権原</b>	当該防火対象物等について管理権原が分かれなない場合は「単一権原」の、分かれる場合は「複数権原」の□印に☑を付けます。	
	<b>(9) 複数権原の場合に管理権原に属する部分の名称</b>	<b>(8)</b> で複数権原にチェックした場合は、管理権原に属する部分の名称を記入します。	
	<b>(10) 用途</b>	<b>(8)</b> で複数権原にチェックした場合は、管理権原に属する部分の用途を記入します。	
	<b>(11) 収容人員</b>	<b>(8)</b> で複数権原にチェックした場合は、管理権原に属する部分の情報を記入します。	
	<b>(12) 種別</b>	消防法施行令第3条の防火対象物の区分に応じて該当の□印に☑を付けます。	
	<b>(13) 令第2条</b>	1 同一敷地内に同一管理権原の2以上の建物がある場合、各棟の名称、用途及び収容人員を記入します。 2 棟が多くこの欄に書ききれないときは適宜用紙を添付して記入します。	
	<b>(14) 令第3条第3項</b>	消防法施行令第3条第3項の小規模テナント等の部分の特例の適用を受ける部分の名称、用途及び収容人員を記入します。	
	防火 ・ 防 災 管 理 者	選 任	<b>(15) 氏名</b>
<b>(16) 住所</b>			防火管理者または防災管理者となる者の住所を記入します。(住所登録のしてある住所。)
<b>(17) 選任年月日</b>			管理権原者から当該防火対象物等の防火管理者または防災管理者として指名選任された年月日(又は届出年月日)とします。
<b>(18) 職務上の地位</b>			防火管理者または防災管理者として選任されたときの地位を記入します。 例)「総務部長」、「店长」、「支店长」等
<b>(19) 防火管理者資格</b>			1 受講した防火管理講習が甲種の場合：甲種の□印に☑を付け、新規講習のみ受講の場合は新規講習の、再講習を受講している場合は再講習の□印に☑を付けます。 2 受講した講習が乙種の場合：乙種の□印に☑を付けます。 3 防火管理講習を受けた機関名を記入します。 例)「福岡市消防局」、「粕屋南部消防本部」、「日本防火協会」等 4 講習を受けた修了証に記載されている年月日を記入します。再講習を受講している場合は、最後に受講した修了証に記載されている年月日を記入します。 5 講習修了以外の資格者で選任する場合の根拠法条及び資格内容を記入します。 例) 規則第2条第1号(安全管理者)
<b>(20) 防災管理者資格</b>			1 防災管理者は『(19) 防火管理者資格』についても記入します。 2 新規講習のみ受講の場合は新規講習の、再講習を受講している場合は再講習の□印に☑を付けます。 3 『(19) 防火管理者資格』の3～5にならって記入します。
<b>(21) 氏名</b>			前任の防火・防災管理者の氏名を記入します。
解 任	<b>(22) 解任年月日</b>	前任の防火・防災管理者が解任された年月日を記入します。	
	<b>(23) 解任理由</b>	「転勤」、「退職」など具体的に記入します。	
<b>(24) その他必要な事項</b>		1 新たに防火・防災管理者が必要になった理由等を簡記します。 例)「新築、増改築、従業員の増加、収容人員の増加、異動」等 2 新築工事中の防火対象物については、工事が完了した際の防火対象物の規模を記入します。 例)「耐火、地上12階地下1階、延べ面積18,240㎡」等 3 委託選任の場合は、「委託対象物の種類」、「選任種別」及び「防火管理者の選任が困難な事由」を記入します。 例)「共同住宅、外部選任、(困難な事由)」等 4 その他必要な事項を記入します。	